

しあわせ

vol.509

2014年1月

H a p p i n e s s



謹んで新春のご挨拶を申し上げます



千葉県労働者福祉センター
解体工事が終了しました。

これまでのご協力に
感謝申し上げます。

(解体工事完了時点：2013.11.25)



(解体前の労福センター：2013.1.28)

●ひとりで悩んでいませんか?

くらし何でも無料相談

ちばライフサポートセンター

☎ 0120-53-4141



2014年 年頭挨拶

結成50年の年を 新たな門出の年に!

(社)千葉県労働者福祉協議会 会長 黒河 悟

新年明けましておめでとござい
ます。年頭に当たり、一言ご挨拶を
申し上げます。先ずは昨年千葉県労
福協にとって最大の課題でありまし
た「千葉県労働者福祉センター」事業
の終息に伴うセンターの建物の解体
工事と借用していた土地の千葉県へ
の返還が年末までに滞りなく終了で
きましたことを労働組合、労働福祉
事業団体、生協連等関係する皆さま
に報告申し上げますとともに、様々な
分野でご支援・ご協力を賜りました
ことに心より感謝申し上げます。ま
た、閉館に伴い昨年3月以降、新し
い拠点に千葉県労福協の活動の場を
移しましたが、これまた多くのご理
解・ご支援をいただきました、滞ることな
く活動を推進できましたことに厚く
御礼を申し上げますとともに、今後
ともご支援頂けますようお願い申し
上げます。

さて、会館事業を終息した千葉県
労福協は本年7月を以て結成50年の
節目を迎えます。当時、「労働者の自
主福祉的活動を総合的に推進し、関
係団体（労働組合や福祉事業団体）
間における福祉活動の連絡、調整、
指導をはかり、労働者福祉を推進し、
併せて社会保障制度の確立に寄与す
る」ことを目的に結成された当協議
会は、まさにこの節目にあたりもつ
一度設立の原点、初心に立って活動
を愚直に進めて行く決意を固めるも
のであります。

本年4月からは、新公益法人法に
伴う一般社団法人への移行も行われ
ますし、昨年末にはこれからの千葉
県労福協運動を進める基盤となる
「組織・財政あり方委員会のまとめ」
もまとまりました。まさに結成50年
の年は千葉県労福協の新たな門出の
年と言えるでしょう。

この門出の年に当たって、加えて
1、2申し上げます。ひとつは、お互
いに「共に運動の主体である」こと
を忘れずに理解し、支え合って行こ
うと言うことです。労働組合も福祉
事業団体も労働者の必要とする気持
ちから起こりました。歴史を紐解け
ばそれは一目瞭然です。

千葉県労福協が出来てからで50年、
戦後の困難期からは約70年が立つと
している今日、ややもするとこの
原点を忘れてしまつのはやむを得な
いのもかもしれません。しかし、何に
でも原点は大切です。昨年来、「労働
者自主福祉運動シンポジウム」を開
催し共に考える機会を提供させても
りました。また、産別や単組でも
取り組んで頂いています。結成50年
を期に本年はそのような機会を更に
広げ労福協への理解が深まるように
したいと思えます。

もうひとつは、労福協を接点にし
て社会とより関わりを持って行くこ
とです。労福協は「連帯・協同でつ
くる安心・共生の福祉社会」、連合は
「働くことを軸とする安心社会」。め
ざすものが「安心の福祉社会」である
なら私たちはますます社会に切り込
まなくてはなりません。その始めと
して、まずは共助を最も必要として
いる非正規雇用や中小・零細企業で
働く人達に労働組合や労金・労済な
ど労働福祉団体への関わりを切り開
いて行かなくてはなりません。労働
者は、労働組合を通じて、必要だか
ら、何も無いところから福祉事業団
体を作ってきました。今日、多くの
先輩の努力で大きな力を持つに至っ
た福祉事業団体の力を最も必要とし
ている人達に今こそ広げて行く時で
す。もし広げていくのに法律の制約
があるならば法律の改正を勝ち取っ
ても実現していくのだというように、
私たちのやる意志さえあれば道は切
り開いていけるといふ理想と希望を
胸にして。是非、そんな一年にして
いこうではありませんか。



労働者自主福祉活動の原点に立つ

中央労働金庫千葉県本部

本部長 日 高 英 彦

新年明けましておめでとうございます。
昨年の総会にて現職に就き、暗中模索しながら格闘している毎日です。そして改めて労働者自主福祉活動である労働運動の大切さを実感し、そして加えて設立当初の先達の苦勞とそれを跳ね返した情熱に、

ただ感服する次第です。

働くことの尊さを思う時、誰もがそれによって人生がより充実したものであって欲しいと思う筈です。働く人達に伴走しながらその人生をより豊かなものにするべく自らの役割を發揮していく事が労働金庫の本領であります。正しく「本領發揮」し

なければなりません。

役員一同、会員と向き合い、労金の果たすべき責務は何なのか、今日の役割は何であるのかを徹底的に論議して実現していかねければならないと考えます。まずは自らを、ほとぼるの活力と高いモチベーションにあふれる組織にすること、そしてそのことが会員にしっかりと伝達されるように活動していくこと、そのため日々の実務があると考えています。

与えられた時間は有限であり、疎

かにする事は出来ません。

働く者の、働く者による、働く者のための労働金庫を体現しなければなりません。ひたすらに努力と研鑽していくのみです。

そして「一期一会」の言葉の通り、人との出会いを大切にして感謝をしながら労働運動に身を投じて行きたいと真に思っています。

今年一年、ご指導、ご鞭撻いただければ幸いです。



「みんなですげあい、豊かで安心できる社会づくり」に向けて

全労済千葉県本部

本部長 細 根 洋

明けましておめでとうございます。

2013年は、全労済千葉県本部の前身であります「千葉労済」が発足して55年、さらに「こくみん共済」が取り扱いを開始してから30年を迎える年でした。これまでのご支援・ご協力にあらためて感謝を申し上げます。

2013年9月には、Jリーグ柏

レイソルによる「こくみん共済30周年スペシャルマッチ」を開催し、盛会に終了することができました。また、2012年「国際協同組合年」を記念して取り組みました「神戸体験学習」も、第2回目が2013年12月に実施され、協同組織や共済運

動の歴史に触れながら学習・交流を行ってまいりました。

一方、2013年も豪雨、雷、竜巻、台風など自然災害が多く発生し、10月の台風26号では、千葉県も甚大な被害を受けました。2013年12月末現在、被災受付は820件を越えましたが、現場調査は97%まで終了しております。引き続き組合員の皆さまへの対応を進めてまいります。2014年は東日本大震災から3年になります。罹災のお問い合わせ件数も少なくなりましたが、引き続き

き罹災対応をさせていただいております。

今後、全労済を取り巻く状況は、一層厳しさが予想されます。また、「大規模災害」の発生なども想定されており、組合員の皆さまの「暮らしの安心・安全に」ご期待いただけるようこれからも頑張っております。

最後になりますが、本年も引き続き労働運動へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



組合員と地域社会の期待に 一層応える生協活動を

千葉県生活協同組合連合会
会長理事 田井修司

謹んで新年のお慶びを申し上げますと共に、旧年中に千葉県の生協に寄せられましたご支援とご協力に対し厚くお礼申し上げます。また、会館事業の終息のためにご尽力された皆様のご苦勞に改めて感謝申し上げます。

昨年の日本生協連總會では、「生協の2020ビジョン」を踏まえた

「第12次中期計画」が決定され、「総合力の発揮」、「つなごりのさらなる強化」、「持続可能な経営体質づくり」の3つの視点を重視して活動をすすめていくことが確認されました。また、ICA（国際協同組合同盟）から「ブループリント（協同組合の10ヶ年計画）」が提起され、ポストIYC（2012国際協同組合年）

の活動が全国で取り組まれています。首都圏では、県域を越えた大規模生協「コープみらい」、「ユーコープ」が活動を始めました。

こうした中で、千葉県生協連では、県内外の震災被災地への支援を継続すると共に、協同組合の価値や役割をアピールする活動、消費者問題・食の安全・環境・エネルギー・平和などの社会的な課題に広く取り組んできました。市町村での高齢者見守り協定への参加がすすみ、買い物ที่ไม่自由な地域での移動販売のモデル事業が始まりましたが、高齢化する

地域社会に対応する取り組みが、組合員からも社会からも高い期待が寄せられていることを実感した一年でもありました。

消費税増税が実施される2014年は、生協の基本である、ふだんの暮らしを応援し豊かにする日常的な事業活動をさらに発展させることと合わせて、以上の課題についても、多くの組合員や地域社会の期待にこたえて生協らしい取り組みを進めていく所存です。関係各位の引き続きご支援ご協力を心からお願いして新年の挨拶とさせていただきます。



「働くことを軸とする安心社会」 実現に向け頑張る

連合千葉
会長 鈴木 光

新年明けましておめでとございませす。皆様にとって本年が希望に満ちた年でありませすようご祈念申し上げます。

連合は、1989年（平成元年）に結成されてから今年で25年目を迎えます。この間、経済や社会が目まぐるしく変化する中であつて、すべての働く人たちの雇用・労働条件の維持・向上、社会保障制度、教育・

環境など「暮らしの安全・安心」に関わる政策の提言や労働組合づくり、東日本大震災の復興支援など様々な重要課題に積極果敢に取り組んで参りました。

しかし、現状は、働き生活していく上で格差の拡大や貧困、将来の不安に直面し、今の社会は持続可能な社会とは決して言えませせん。

私たち、連合に求められている使

命・役割は、連合結成の原点である社会の公正を追い求め、現在目指すべき社会像として「働くことを軸とする安心社会」を提起し、すべての働く人・生活者が希望を持って安心して暮らせる社会の実現に向けて取り組んでいきます。

連合千葉は、労働運動の再構築のために、「連合運動を質・量ともにパワーアップをはかる」ことを基本に、①1000万連合方針を踏まえ、連合千葉20万人を目標に取り組み。②連合千葉第3次男女平等推進計画を策定・始動し、女性の参加・参画の推進をはかる。③労働者自主福祉

運動との連携強化をはかる。これら3つの柱を主体的に取り組み、運動を着実に実践して参ります。

とりわけ、強調すべき2014春季生活闘争は、労働組合の社会的責任が大きく問われる闘いでありませす。非正規の皆さんの処遇改善や男女間の格差是正と暮らしの底上げのために、構成組織は月例賃金に拘る取り組みと結果が求められる極めて重要な春季生活闘争でありませす。

連合千葉は、千葉県労働協の皆さんと更に連携を強めつつ、「働くことを軸とする安心社会」実現のため本年も全力で頑張ります。



2014年 年頭挨拶

労働者福祉中央協議会

会長 古賀 伸明

新年明けましておめでと
うございます。

今年、2009年に策
定した労福協の「2020
年ビジョン」に向けた具現
化の折り返し点にあたりま
す。2012年の国際協同

共助拡大運動の2つを活動
の軸とし、昨年1年かけて
議論してきたことを具体的
な形にし、行動に移してい
く年にしていききたいと思
います。

昨年末に生活困窮者自立
支援法が成立し、困窮者に
対する包括的・伴走型の支
援が制度化され2015年

来問われるべきなのは、働
いても生活できない、働き
たくても働けないという今
の社会の姿なのです。格差
や貧困のない社会に向けて
労福協も社会の共感の得ら
れる運動の一翼を担ってい
きたいと思えます。

的価値を訴え、原点に立ち
返って労働組合と協同組合
との連携強化を呼びかけて
きました。私も様々な場で、
最も共助を必要とする人た
ちが共助の仕組みの外にい
る現状を指摘し、そうした
方々に共助の輪を拡大して
いくことを繰り返し問題提
起してきたところです。

筋ができました。しかし、
本来の趣旨にそった制度に
していくためには、本年度
の取り組みが極めて重要で
す。各地域において着実に
体制づくりを進め、労福協
を含めた幅広い支援組織が
参画していくことで、制度
に魂を込めていくことが必
要です。

競争とか効率、経済性を
すべて否定するものではあ
りませんが、そこだけに重
きをおいた政策については
徹底して対峙していかな
くはなりません。連帯・協
同、共生、社会性といった
価値観や政策がバランス良
く配置された社会をめざし
て、ともに前進しましよ
う！

今年、労働団体と事業
団体の連携行動を通じて、
協同事業の基盤強化に向け
た利用促進と、労働者福祉
のウイングの拡大をめざす

同時に、貧困を生み出す
原因をなくしていくための
取り組みも不可欠です。本

引き続き、それぞれの立
場からの労福協運動への参
画とご支援をお願い申し上
げます。

今年、労働団体と事業
団体の連携行動を通じて、
協同事業の基盤強化に向け
た利用促進と、労働者福祉
のウイングの拡大をめざす

同時に、貧困を生み出す
原因をなくしていくための
取り組みも不可欠です。本

引き続き、それぞれの立
場からの労福協運動への参
画とご支援をお願い申し上
げます。

本年もよろしくお願ひします

(社)千葉県労福協役員

地区労福協役員

職員	事務局長	顧問	顧問	監事	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副会長	副会長	副会長	会長
岩上美佐子	宮崎直樹	岡田勝	栗田忠宏	富田信夫	川野佳通	金子祐貴	椎名寛幸	榎澤淳一郎	小川悟	三上光明	保田武利	椎名衛	牧野昌子	小柳光廣	丸山芳高	細根洋	日高英彦	黒河悟
理事	NPO法人 子育て支援グループ「ハミングちば」	事務局長	会長	八千代地区	事務局長	野田地区	事務局長	千葉市地区	事務局長	長生・茂原地区	事務局長	銚子地区	事務局長	匝瑳地区	市川・浦安地区	事務局長	安房地区	事務局長
野中一民		佐々木睦昭	後藤道宣	染谷義則	芝崎琢巳	渡邊敬幸	三上光明	矢部博一	黒澤一	宮内哲男	伊藤隆司	山色昭浩	工藤豊	小原信夫	渡邊毅之	小谷栄		



労働者自主福祉運動シンポジウム



中央労協 大塚事務局長



高橋均氏

(中央労協前事務局長)

「労働者自主福祉運動シンポジウム」は、2013年12月14日(土)午後1時に京成電鉄労働会館大ホールにおいて、県内全域から112名の参加者を得て開催しました。

本シンポジウムは、2012年度に中央金労組千葉統括支部と全労済労組千葉支部そして千葉県労協の3団体が主催して開催しましたが、労働者自主福祉運動・事業や協同組合運動の更なる推進をはかるために、今年度は、千葉県労協が主催し、連合千葉、中央金労組千葉統括支部、全労済労組千葉支部と中央労働金庫千葉本部、全労済千葉本部に共同して頂き開催しました。

シンポジウムは、主催者を代表し千葉県労協協理根副会長の開催趣旨を含めた挨拶を皮切りに、講演Ⅰ「歴史から学ぶ労働運動・労働者自主福祉運動の理念・課題」では昨年度に引き続き高橋均氏(中央労協前事務



千葉県労協 小柳常務理事

局長)よりご講演頂き、講演Ⅱ「労働組合と協同組合の連携強化・共助拡大に向けて」では中央労協大塚事務局長よりご講演を頂きました。講演Ⅰでは、「労働者自主福祉運動の成り立ち」、「当面する労働運動の課題」、「労働者自主福祉運動のあらたな展開に向けて」、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現」について、講演Ⅱでは、中央労協が昨年の国際協同組合年を契機に設置した「労働団体・事業団体連携行動委員会」の設置目的・経過から「まとめ」について、分かりやすくお話を頂き、地域での共有や共通認識の醸成、そして実践に結びつけていく良い契機となりました。



その後、千葉県労協の活動紹介を小柳常務からパワーポイントにより、構成団体、地区労協との連帯・協同をはじめに、千葉県労働者福祉センター終息への取り組み、労働者の福祉向上、労働者自主福祉運動・協同組合運動の推進、子育て支援、くらし何でも相談(ちばライフサポートセンター)、フードバンクや消費者問題、格差貧困問題等、市民との協同や幅広いネットワークでの取り組みが紹介され、千葉県労協協同の理解や認知度向上に少しでも結びつけることができました。

最後に、日高副会長より一層の連帯強化と運動推進への協力をお願いし労働者自主福祉運動シンポジウムは閉会しました。師走月の土曜日にもかかわらず多くの皆さまにご参加頂きましたことに紙面をお借りし改めて感謝申し上げます。

平成26年度 千葉県予算に対する政策・制度の要請

千葉県労福協は、「政策・制度」を取りまとめた年1回千葉県に対して要請しています。

2013年度は、8月の第85回理事会で取組方針を決定して以降、中央労福協の政策を踏まえるとともに、構成組織や連携団体からの政策要望等を受け止め議論を重ね10月の第86回理事会で取りまとめを行いました。

千葉県に対しては、12月12日（木）に千葉



雇用労働課長へ要請書を渡す黒河会長

県庁において会長、副会長、常務理事、事務局長の6名で商工労働部雇用労働課へ要請書の提出と要請内容の説明を行いました。内容は、①千葉県労働者福祉協議会についての要望（財政等の支援）、②連帯経済を促進する協同組合・協同組織の育成支援、③東日本大震災の被災者支援と復興・再生および災害対策、④労働者の生活安定に関する要請、⑤くらしの安全・安心について、⑥格差・貧困社会の是正、ナショナルミニマムの保障、セーフティネットの強化、⑦消費者政策の充実強化、⑧多重債務対策、⑨フードバンク活動の促進を柱に51項目の要請を行いました。

2013年度 税務研修会



関口税理士

組・32名の方々に参加いただきました。開会にあたって、小柳常務理事より千葉県労福協の活動報告を交

2013年11月14日（木）全労済千葉県本部6階会議室において、関口税理士を講師に「2013年度労働組合に係わる税務研修会」を開催しました。研修会には、24

え主催者挨拶がされました。研修では、関口講師から前段に消費税率アップをはじめとする税制全般にわたる動向や問題意識等のお話があり、その後、「労働組合の会計と監査」から入り、「労働組合に関わる税務」として、①税務の概要、②源泉所得税、③法人税・地方税、④消費税等について分かりやすく講義して頂きました。

参加者全員が熱心に受講するとともに、休憩時間や終了後にも残って個別質問が出される等、熱の入った有意義な研修会となりました。

第30回 千葉県勤労者チャリティゴルフ大会



個人優勝の小川澄雄さん

第30回千葉県勤労者チャリティゴルフ大会を、晴天のもと2013年11月18日（月）真名カントリークラブで開催しました。112名の働く仲間の皆さんが集い、ナイスショットに珍プレーとなごやかに大会を盛り上げていただきました。プレー終了後の待ち時間を活用しての「パターゲーム」でも



団体優勝のJ R 連合Aチームの皆さん

おおいに交流がはかられ、表彰式も多くの皆さんが参加され盛り上がりの中で成績発表がされました。見事優勝に輝きましたのは、個人の部は小川澄雄さん、団体の部はJ R 連合Aチームで、豪華な賞品を手にしました。

今回も多くの賞品を提供頂きました労働団体、福祉団体、関係企業に厚く御礼申し上げます。

また、参加者全員の皆さんと入賞者からのチャリティ募金は、18万円となり、東日本大震災による千葉県内被災者及び県外から千葉県内に避難されている被災者を支援する団体等へ寄付いたします。改めて感謝申し上げます。

個人賞	優勝	小川 澄雄（顧問チーム）	グロス82、HC10.8、NET71.2
	準優勝	山田 昭則（J R 連合A）	グロス81、HC 9.6、NET71.4
	3位	浅野 靖（NTTコムウェア分会）	グロス85、HC13.2、NET71.8
	ベスト	木戸場政八（JAM東京千葉）	スコア79

団体賞	優勝	J R 連合 A	NET218.6
	準優勝	中央 労 金	NET220.8
	3位	JAM東京千葉	NET221.4



その他、パターゲーム賞、ニアピン賞、ドラコン賞 他

野田地区労福協 第43回 定期総会 紹介



新体制の紹介



会長挨拶

野田地区労福協定期総会を平成25年12月6日(金) キッコーマン労働会館にて開催され、当日は千葉県労福協の黒河会長や野田市の根本市長など4名のご来賓の方々を含む総勢32名の参加がありました。

総会の中では、2013年度の活動報告として、通年開催し好評を得ているバスツアーや、今期より新たに企画された、地元企業であるキッコーマンの工場見学と野田市清水公園でのバーベキューをセットにした「工場見学&交流バーベキュー」などの報告が行われ、「地域の勤労者とその家族が交流を深められ、大人から子供まで楽しめる行事になった」と報告がなされました。

2014年度活動方針では、引き続き労金・全労済等の福祉団体と連携を密にし、地域における労働者福祉活動の推進を図ると共に、地区に在住する企業や勤労者が家族も含めて交流が図れる企画を立案し、人と人との繋がりを尊重した活動に努めていくという事が示されました。

当地区労福協としては、今後もその時々ニーズにあった活動を目指すと共に、福祉団体とも連携しながら役員一同務めてまいります。

(事務局長 染谷義則)



NPO法人子育て支援グループ ハミングちば

ハミングちばは、2000年6月の千葉県労福協「子育て支援の取り組み方針」を受け、2002年7月パパとママの子育て支援グループ「ハミング」を設立し、2003年2月NPO法人子育て支援グループ「ハミングちば」として設立総会を開催して以降、お助け会員である市民の皆さまとの協同で活動を続け12年目を迎えようとしています。

2002年10月に最初の支援活動

10,000時間達成を祝おう!会

を行ってから昨年7月には延べ活動時間1万時間を突破し、昨年12月8日(日)に「10,000時間達成を祝おう!会」を千葉市美浜区高洲第三集会所で開催しました。

当日は、前段に「ハミングちば」全体定例会議を行い、その後「祝おう!会」を開催し役員・お助け会員(OG含む)21名が参加し、野中理事長からこれまでの思い出を含めたご挨拶、そして乾杯と進みました。「写真で見るとハミングの思い出」を戸谷コーディネーターのナレーションでパワーポイントによりエピソードも含め紹介され、当時を懐かしみました。続いてメッセージ披露、お助け会員による思い出に残る支援(出来事)のお話披露、プレゼント交換、そして齋藤前理事長による歌の披露等、盛りだくさんで時間が立つことも忘れるほどに会が盛り上がり、伊藤理事の閉会挨拶で終了しました。手作りでご温まる会となり、この気持ちを忘れず今後活動に結びつけることを確認した会でした。

第24回 千葉県協同組合 フェスティバル



開会式でのテープカット

2013年10月27日(日)千葉ポートパーク円形広場で千葉県協同組合提携推進協議会が主催し、第24回千葉県協同組合フェスティバルが晴天のもと盛大に開催されました。



子ども向けイベント(輪投げ)

組合年を契機に築かれた連携を今後一層深め協同組合連動を推進していきます。

千葉県生協連からお声かけ頂きフェスティバルに初めて参加し、第24回フェスティバルにも継続参加させて頂きました。

開会式には、千葉県生協連はもとより、千葉県労協、中央労金千葉県本部、全労済千葉県本部の代表が登壇し、田井生協連会長理事とともに黒河労協協会長がテープカットに参加しました。会場内では、千葉県生協連の構成組合が生協の活動紹介・加入案内や食品・飲料等の販売、被災地支援コーナー等がそれぞれに工夫を凝らし出店されました。

千葉県労協は、中央労金千葉県本部、全労済千葉県本部と一緒に、なって事業や活動紹介のパネル展示チラシ配布、そして子ども向けのイベントを行って来ました。国際協同組合年を契機に築かれた連携を今後一層深め協同組合連動を推進していきます。



「まじくるフェスタin千葉」での意見交換

反貧困 全国キャラバン 2013 in 千葉

「反貧困全国キャラバン2013 in 千葉」は、11月17日(日)～19日(火)の3日間で実施されました。千葉県弁護士会、司法書士会が中心となり実行委員会を立ち上げ、千葉県労協が参加している「貧困問題を考える懇談会」の参加団体が加わりキャラバンを実施しました。



街頭でのシール投票

キャラバンでは、千葉駅を始めとする県内の主要駅頭での街宣行動、海浜地域における学習会、船橋駅前における「労働・生活相談会」、千葉市への要請書提出等を展開するとともに、福祉関係者や弁護士、司法書士そして労協も関わり今年4月に設立した一般社団法人ひと・くらしサポートネットが主催した「まじくるフェスタin千葉」にも参加し、「司法と福祉の連携」をテーマに、反貧困キャラバンの趣旨説明や貧困問題等のインタビュ形式での意見交換、反貧困キャラバンブースでのアピールとシール投票等を行って来ました。「まじくるフェスタin千葉」には、全国から福祉に関わる皆さんも多く参加され交流がはかられました。3日間のキャラバンでのシール投票数は443となり多くの県民の皆さんにご協力をいただきました。

キャラバンをとおし、貧困の現実や多くの団体の取り組みが共有化され、団体間の連携の輪が広がりました。そして経済的貧困、関係性の貧困を無くしていくために、「人間らしい生活と労働の保障を求めてつながろう!」「私たちの町をもっとやさしい社会にするために」のつながり支え合う社会をめざし、私たち自ら私たちの町で取り組んでいくことを確認したキャラバンでした。

第48回定期総会・役員研修会

労働者福祉東部ブロック協議会は、1都10県の地方労福協で構成し、福祉リーダー塾をはじめ、労働者福祉向上の各種取り組みを展開しています。定期総会と役員研修を年1回各地方労福協持ち回りで開催していますが、2013年度は千葉県労福協が担当し、2013年11月21日（木）に京成ホテルミッドマーレで第48回定期総会を開催し、22日（金）～23日（土）に役員研修会を開催しました。



黒河会長

演壇

第48回定期総会では細根副会長が議長をつとめ、黒河会長からは開催県として歓迎の挨拶がされました。

定期総会後の記念講演では、フードバンクちば菊地代表から「フードバンクちばの活動報告」を、マリン法律事務所所長弁護士から「労福協と弁護士連携について」千葉での取り組み紹介」の講演を頂きました。その後の交流会は日高副会長の開会挨拶にはじまり、各地方労福協が順次登壇しての紹介により交流・連帯が深まり丸山副会長の閉会挨拶で定期総会、講演会、交流会が終了しました。



消費者行政充実ネットちば 事務局長
 弁護士 榊野 兼 弁護士

役員研修会には28名が参加し、初日は市原市で変圧器・開閉装置・変換装置の生産を行う富士電機千葉工場を視察し、『波の伊八』の彫刻があるいすみ市の「東頭山行元寺」ではご住職から説明を受け、翌日は日蓮聖人御降誕の地にある「小湊誕生寺」を参拝し、東京湾横断道をとおり東京駅で解散しました。富士電機千葉工場の視察では、富士電機労働組合千葉支部小山委員長をはじめ支部役員や会社の皆さまにご協力を頂きました。感謝申し上げます。



フードバンクちば 菊地代表

工場を視察し、『波の伊八』の彫刻があるいすみ市の「東頭山行元寺」ではご住職から説明を受け、翌日は日蓮聖人御降誕の地にある「小湊誕生寺」を参拝し、東京湾横断道をとおり東京駅で解散しました。富士電機千葉工場の視察では、富士電機労働組合千葉支部小山委員長をはじめ支部役員や会社の皆さまにご協力を頂きました。感謝申し上げます。



富士電機労働組合事務所前での記念撮影

ネットワーク団体活動のご紹介

千葉県労協は、「地域創造ネットワークちば」、「協同労働の協同組合ネットワークちば」、「フードバンクちば」、「消費者行政充実ネットワークちば」、「貧困問題を考える懇談会」や「ひと・くらしサポートネットワークちば」等に参加し、市民との協同や幅広いネットワークで社会的課題に取り組んでいます。

この間の主な取り組みについて紹介・報告します。

1 ちばユニバーサル農業フェスタ2013

NPO法人地域創造ネットワークちば（理事長 岡田 勝）は、ちばユニバーサル農業フェスタ実行委員会に参画し、「ちばユニバーサル農業フェスタ2013」を9月21日から11月9日にかけて四街道市文化センターをメイン会場としてサブ会場を含め県内5箇所で開催しました。ユニバーサル農業とは、これまで長く農業に携わってきた人、新しく就農した人、福祉施設で農作物をつくる人、農業に取り組む若者、農作物を加工する人、おいしく料理する人、食べる人など、みんなで参加し支える農業です。フェス



幕張会場

タは農業を通じて、出会い、交流し、はたらきあう、新しい農業のかたち「ユニバーサル農業」の考えを広め、「農業の持つ可能性」や「農の価値」を社会に発信する目的で開催しています。

2 消費者行政充実ネットワークちば5周年の集い

千葉県労協は10月26日の四街道市文化センター、11月9日ホテルメイプルイン幕張会場の設営協力を連合千葉、産別のご協力を頂き実施してきました。荒天のため屋内開催になった四街道会場で800人、幕張会場では1000人が来場されました。

「消費者行政充実ネットワークちば」は、

千葉県生協連をはじめ千葉県労協を含め15団体が参加して2008年9月に設立して以降、県内各地で消費者行政活性化に向けての「市民シンポジウム」やアンケート調査・啓発活動等を行って

行っています。

昨年設立5周年を迎え、10月31日に「消費者行政充実ネットワークちば5周年の集い」を京葉銀行文化プラザで開催しました。ご

来賓には阿南消費者庁長官、中島千葉県環境生

活部部長をお迎えし、県議会各会派、シンポジウム開催自治体や関係団体から多くの皆さまに参加頂きました。第一部では河野代表幹事の主催者挨拶に始まり阿南長官、中島部長、河野県議会議員よりご挨拶頂き、拜師事務局長から「地方消費者行政の現状と課題」の講演、第二部は堀江旭市商工観光課長の乾杯、参加者スピーチ、そして和田代表幹事の閉会挨拶で終了しました。参加者スピーチでは自治体や関係団体、県議会議員の皆さまからそれぞれ決意が述べられ、ネットワークちばへのエールが届けられました。



ご挨拶される消費者庁 阿南長官

3 フードバンクちば「連合愛のキャンパ」地域助成を受ける

千葉県労協が協力団体として関

わっている「フードバンクちば」が、2013年10月25日（金）の連合千葉第14回定期大会において、連合千葉黒河会長からフードバンクちば菊地代表に「連合愛のキャンパ」地域助成が贈呈されました。フードバンクちばの活動は一年半が経過し県内の社会福祉協議会や市役所等との連携が広がり支援数が増加しています。福祉施設や支援団体等への「団体支援」や公的・民間の相談支援機の窓口を通しての生活困窮者（世帯）への「個人支援」を行っていますが、「個人支援」が急増しております。現在、千葉県労協より連合千葉及び構成産別を始め多くの皆さまにご協力をお願いしているところです。千葉県労協では、運営面においてフードドライブの受付窓口、企業等からの寄贈食品の受け取り応援や福祉施設等への食品輸送応援等を行っています。連合千葉、UAゼンセン、自治労千葉県本部、電力総連をはじめ多くの皆さまにご協力を頂き取り組んでいるところです。フードバンクちばへの一層のご支援をお願いいたします。

連合千葉 第14回 定期大会



黒河会長から菊地代表へ贈呈



～千葉県生協連平和のための学習交流会～

「子どもたちに平和な未来を2013」開催

千葉県生協連では、昨年12月9日、京葉銀行文化プラザにて「子どもたちに平和な未来を2013」を開催し、約200名が参加しました。この学習交流会は、平和の大切さと核兵器の廃絶について考え、平和のための活動を交流することを目的に毎年開催されています。

今回は、「世界平和アピール七人委員会」メンバーであり、「世界がもし100人の村だったら」の著者池田香代子さんを講師に招き、「100人の村」の未来のために、今私たちにできること」と題した講演をメインに、この学習交流会の協力団体である「千葉県原爆被害者友愛会」、「日本赤十字社千葉県支部」、「千葉県ユニセフ協会」からそれぞれの平和な世界をめざす活動の報告がこなわれました。



講演する池田香代子さん

池田香代子さんの講演では、著書の印税から100人村基金を立ち上げて難民救済の支援活動をおこなっていること、「100人の村」は環境問題から世界の貧困や食料、エネルギー問題などにテーマを広げ、絵本となって世界に広がっていることなど幅広いお話をしていただきました。また講演の間に、橋本功氏が作成した膨大な数の核実験を視覚化したDVDが上映され、最後に音楽をバックに「世界がもし100人の村だったら」の子ども編の一部が朗読されて参加者の驚きと感動を誘いました。

会場ロビーでは、友愛会「人間と原爆」、千葉県ユニセフ協会「子どもたちにやさしい地球を残そう」「ユニセフってなあに」、日本赤十字社千葉県支部「対人地雷の被害者」「連合軍捕虜局を訪れたジュノー博士」



会場でのパネル展示

「赤十字通信の配達」などのパネルを展示し、多くの参加者が足を止めて熱心に見入っていました。参加者からは、「池田さんのお話に共感し、自分の判断がとても大切だと痛感しました。」「団体名は知っていても、活動内容は具体的にはわかっていなかったため、知ることができて今後の活動に活かしたいと思います。」など、多くの感想がありました。

合葉連千 第14回定期大会 開催される

仲間の結集と

運動の前進を目指す！

昨年の10月25日に第14回定期大会を開催し、全ての議案は満場一致で可決されました。

この大会で、永年に亘りご尽力いただいた黒河会長から鈴木新会長にバトンタッチがされ、鈴木会長から力強く次の決意・挨拶を行い、新たな船出をいたしました。

「私たち連合千葉は、向こう二
年間、運動方針の着実な実践によ
る組織化組織拡大を極めて重要な
取り組みとして位置づけ、20万連
合千葉を目標に働く仲間の結集と
運動の前進を期すこととします。
労働組合が社会から期待され、
共感を得る運動を具現化していく
とともに、運動的役割と責任、地
域・職場での存在価値と信頼を更
に高め、様々な課題に全力を挙げ
て頑張り抜く決意であります。」



新役員をよろしくお願ひします



会 長	副 会 長	事 務 局 長	副 事 務 局 長	会 計 監 査	執 行 委 員
鈴木 光 (情報労連)	五十嵐利男 (県私鉄)	林田 博史 (JAM)	帷子 洋一 (基幹労連)	上田 晃 (航空連合)	大槻 陽 (航空連合)
太田 徳彦 (JAM)	小谷 裕 (基幹労連)	横田 泰文 (UAセンセン)	高柳 彰 (UAセンセン)	坂口 伸一 (運輸労連)	岡澤 一彦 (県私鉄)
椎名 衛 (自治労)	芝崎 琢巳 (フード連合)	山崎 英世 (電力総連)	滝本 明良 (電力総連)	若菜 泰裕 (全国ガス)	小澤 善太 (JR総連)
鈴木 洋 (情報労連)	日暮 公世 (自動車総連)	森 康浩 (電機連合)	辻 徳次郎 (基幹労連)	岩崎 裕樹 (全労金千葉)	香取 雄二 (国公総連)
鶴岡 克彦 (千教組)	西藤 勝 (JPP労組)	横田 泰文 (UAセンセン)	横田 義之 (自治労)	岩崎 克美 (全電線)	川崎 宏薫 (千教組)
小島 哲 (サービス連合)	小林 隆之 (自動車総連)	山崎 英世 (電力総連)	齋藤 政洋 (JPP労組)		榑田 勇 (交通労連)
小山 良成 (自治労)	佐野 巨 (労済労連千葉)	山崎 英世 (電力総連)	齋藤 政洋 (JPP労組)		小島 哲 (サービス連合)
澤田 修二 (全自交)	白木 敏男 (基幹労連)	山崎 英世 (電力総連)	齋藤 政洋 (JPP労組)		小林 隆之 (自動車総連)
白土師 孝 (運輸労連)	高橋 泰彦 (UAセンセン)	山崎 英世 (電力総連)	齋藤 政洋 (JPP労組)		佐野 巨 (労済労連千葉)
高橋 泰彦 (UAセンセン)	永富 博之 (電力総連)	山崎 英世 (電力総連)	齋藤 政洋 (JPP労組)		澤田 修二 (全自交)
永富 博之 (電力総連)	西卷 孝之 (JAM)	山崎 英世 (電力総連)	齋藤 政洋 (JPP労組)		白木 敏男 (基幹労連)
野田 泰造 (電機連合)	野村 敦 (JPP労組)	山崎 英世 (電力総連)	齋藤 政洋 (JPP労組)		高橋 泰彦 (UAセンセン)
野村 敦 (JPP労組)	堀 正樹 (政労連)	山崎 英世 (電力総連)	齋藤 政洋 (JPP労組)		永富 博之 (電力総連)
肥田 昭司 (情報労連)	本多 正磨 (化学総連)	山崎 英世 (電力総連)	齋藤 政洋 (JPP労組)		野田 泰造 (電機連合)
堀 正樹 (政労連)	松戸 茂 (JR連合)	山崎 英世 (電力総連)	齋藤 政洋 (JPP労組)		野村 敦 (JPP労組)
本多 正磨 (化学総連)	宮内 利明 (フード連合)	山崎 英世 (電力総連)	齋藤 政洋 (JPP労組)		肥田 昭司 (情報労連)
松戸 茂 (JR連合)	吉野 照夫 (全国ガス)	山崎 英世 (電力総連)	齋藤 政洋 (JPP労組)		堀 正樹 (政労連)
宮内 利明 (フード連合)	高岡恵美子 (千教組)	山崎 英世 (電力総連)	齋藤 政洋 (JPP労組)		本多 正磨 (化学総連)
吉野 照夫 (全国ガス)		山崎 英世 (電力総連)	齋藤 政洋 (JPP労組)		松戸 茂 (JR連合)
高岡恵美子 (千教組)		山崎 英世 (電力総連)	齋藤 政洋 (JPP労組)		宮内 利明 (フード連合)

セカンドライフセミナーのご案内

日 時 2014年3月1日(土) 13:00~16:00

開催場所 全労済千葉県本部6F会議室(千葉市中央区弁天1-17-1)

受講費用 無料

対象者 定年退職を控えた組合員の方と、その配偶者の方
※配偶者の方のみの参加も可能です。

定 員 72名

カリキュラム 全2単元

- ①『定年バンザイ、新しい生活に必要な社会保険、税金のこと』
(年金、雇用保険、健康保険、介護保険、税金の必要な基礎知識)
- ②『退職後の全労済制度の継続方法について ~終身にわたる医療保障のご提案~』



お申し込み、お問い合わせは、

全労済千葉県本部 推進企画課 TEL: 043-287-8142 までお願いいたします。

地区共済会加入者の集い 開催のお知らせ

入場無料!

南総地区共済会 (定員300名)

映画上映会「怪盗グルーのミニオン危機一発」
3月29日(土) 12:30~14:30
木更津市民会館 中ホール

総武地区共済会 (定員200名)

ワンダードラムパフォーマンス
4月6日(日) 13:00~15:00
船橋市民文化創造館 きららホール

市原・外房地区共済会 (定員250名) 共催

映画上映会(上映作品未定)
4月12日(土) 9:30~11:50
シネマックスちはら台

東葛地区共済会 (定員300名)

映画上映会「モンスターズ・ユニバーシティ」
5月17日(土) 13:30~16:00
アミュゼ柏 クリスタルホール

千葉・北総地区共済会

内容が決定次第『全労済千葉県本部』
ホームページにて紹介します。

お申し込み・お問い合わせ

全労済千葉県ホームページから
申し込みできます。

全労済千葉県本部

検索



— 新オンラインシステム移行 —

R・ONE

〈アールワン〉キャンペーン

抽選で
当たる!
総勢500名!!

～みなさまのONLY ONE バンクへ～

1等
※画像は、イメージです。

6の温泉ギフトプランから癒しの温泉が選べる。

5万円相当額の「温泉が選べるギフト」から
ペア宿泊券10組20名 (1泊2食付)

2等
※画像は、イメージ及び盛り付け例です。

18の厳選グルメプランから美味しいグルメが選べる。

1万円相当額
の選べる
厳選グルメ券 100名様

※ギフトの内容・券面のデザインは変更となる場合があります。

3等 3千円の**ギフトカード 390名様**

＜1等賞品に関する注意事項＞
※有効期間内にお申込みください。申込書・クーポン券に記載の有効期間内にお申込みが完了していない場合は無効となりご利用出来なくなりますので、お早めにお申込みください。＜商品交換の有効期間は、発行日より6か月となります。また、温泉商品申込の際、クーポン券を発行いたします。クーポンの有効期間は、発行日より6か月間になります。＞※内容は大人2名様1泊分の宿泊費、食事代（朝、夕の2回）、消費税、サービス料が含まれております。（但し、入湯税は含まれません。）※休前日に施設ご利用の場合は追加料金が必要となります。※ご利用される施設までの交通費や諸費用、また施設やプランの人数、サービス等の追加や変更などによる費用は含んでおりません。別途実費にてご精算ください。詳細につきましては、同封の申込書等をご覧ください。

抽選で当たる! 総勢500名!!

- キャンペーン期間：2014年1月6日(月)～2014年3月31日(月)
- キャンペーン対象商品：定期預金（スーパー定期預金、大口定期預金）財形貯蓄、エース預金

R・ONEキャンペーンについてのご注意

●本キャンペーンは個人のお客様のみを対象とさせていただきます。●2014年3月末日時点において、対象条件を満たされなくなった場合、抽選権利が消滅します。●賞品に変更が生じた場合は、当金庫のホームページに公開いたします。●抽選の登録は自動エントリーとなります。当金庫の抽選は2014年4月中旬頃に行います。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。賞品は2014年4月下旬に当金庫登録の住所に発送予定です。賞品の進呈は抽選権利数にかかわらず、お一人様1本となります。●詳しくは〈中央ろうきん〉営業店までお問い合わせください。

キャンペーンおよび、商品・サービスに関する詳細はこちら

ホームページへアクセスいただくか、又は〈中央ろうきん〉と検索ください。

中央ろうきん 24時間いつでも、ネットでご相談
<http://chuo.rokin.com>

モバイルサイト(携帯電話)でもご相談を承ります。

※二次元バーコードの読み取りは、携帯電話未搭載、読み取り環境等により、正常な読み取りができない場合があります。ご了承ください。

お問い合わせは
中央労働金庫千葉県本部 TEL.043-251-5162

あんしん
創造バンク
中央ろうきん

茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨の店舗でお持ちしております。

いつもこころに
防災ずきんを



自然災害保障付 火災共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとけある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

今日、「まさか」について考えよう。

新年のご挨拶

日頃より全労済の活動に
ご協力いただき
ありがとうございます。



本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は多くの自然災害がありました。

いつ起きてもおかしくない火災や自然災害から暮らしを守るために全労済の火災共済・自然災害共済で備えましょう。

お見積りはホームページまたは
右記コードをお読み取りください。



全労済千葉県本部

検索

(千葉県労働者共済生活協同組合)

1213W316

ローンのこと、お金のこと、いろいろ聞きたいことはありませんか？

相談会の日



車の購入費
教育費

みんなはどうしてる？

資産運用
始めたい！

ローンのこと
お金のことなら

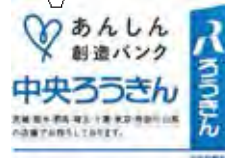
住宅ローンのこと
知りたい！

「中央ろうきん」に相談しよう！

※一部未開催の店舗がございます。※店舗によって相談会の開催時間が異なる場合がございます。※事前のご予約がないお客様につきましては、お待ちいただくか、ご相談時間を別途ご調整させていただく場合がございますので、予めご了承ください。※詳しくは〈中央ろうきん〉営業店またはホームページにてご確認ください。

相談会にご来場いただけない方もホームページから 住宅ローンWeb簡易審査申込好評受付中！
最新の金利・商品の詳細をホームページでご確認いただけます [中央ろうきん](http://chuo.rokin.com/) [検索](http://chuo.rokin.com/) <http://chuo.rokin.com/>

お問い合わせ・ご相談は
中央労働金庫千葉県本部
TEL.043-251-5162



あけまして
おめでとうございます。

今年もよろしくお祝い申し上げます。 110114年 元旦